

園芸科果樹専攻トロピカル班
(千葉県立成田西陵高等学校)

トロピカルフルーツ栽培に挑戦！ ～成田の畑地でバナナは育つのか～

【活動グループの紹介】

千葉県立成田西陵高校は、創立110年を超える歴史と伝統のある農業と商業の専門高校です。4学科の一つである園芸科では、1年生で野菜・果樹・草花・作物といった園芸に関する基本的な技術・知識を学び、2・3年生で選択した専攻ごとに知識・技術を深めています（作物については来年度の3年生で終了）。

果樹専攻トロピカル班の皆さんは、3年生5人で活動しており、主にトロピカルフルーツと呼ばれる果物の栽培に挑戦しています。週3日の授業で栽培管理を行うほか、当番制で毎日ハウス内温度を記録するなど、班全体で協力して取り組んでいます。

[千葉県立成田西陵高等学校](#) ←学校の詳細はこちらから！

【取組の紹介】

令和5年からアケビバナナの栽培をスタートさせました。アケビバナナは、 -5°C まで耐えることができるため、成田市の気候でも栽培することができます。また、鮮やかなピンク色の実をつけるため、観賞用として親しまれています。今年は、今までの実験結果から施設栽培が必要であると考え、ビニールハウス内の鉢植えによる栽培を行い、成熟したアケビバナナを作ることを目指しています。さらに、新たなトロピカルフルーツ栽培にもチャレンジしており、パイナップル・パッションフルーツ・モンキーバナナ（スーパーマーケットで売られている一般的なものよりも一回り小さなバナナ）を育てています。



Q1 アケビバナナの味と魅力を教えて！



昨年の先輩から繊維と種を感じて、あまりおいしくないと聞いています。自分たちも気になるので食べてみる予定です。実の色がアケビバナナ特有の鮮やかなピンク色で見栄えが良く、かわいいところが魅力的です。

果樹専攻トロピカル班の
みなさんに聞きました！



Q2 取組の中で楽しいことは？

小さかった個体がとても大きく成長していて、その成長を実際に見られることです。とても愛着がわきます。また、メンバー同士仲が良く、みんなと一緒に作業できることが楽しいです。



成田西陵高校を
代表する活動にしたい！

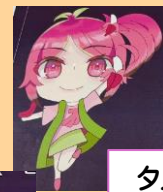
Q3 育てたトロピカルフルーツの使い道は？

何年も後になるかと思いますが、地域交流を図るためにも、いつか販売したいと考えています。また、アケビバナナについては大きい観賞用植物として、近所の小学校の教室等に飾れるといいなと考えています。



Q4 これからの意気込みをどうぞ！

先輩として今ある個体をきちんと育て、後輩に引き継いでいきます。そのためにも、各トロピカルフルーツが冬の寒さを乗り越えられるよう頑張ります。また、地域交流をもっと深めて、成田市の皆様が自分たちの取組を認識するような発信活動等をしていきたいです。



タノ



ピースパイン

取材を終えて

成田西陵高等学校園芸科果樹専攻トロピカル班の皆様、現地交流会への取材対応、ありがとうございました！
トロピカルフルーツを育てているところを直接みることで、とても面白かったです。アケビバナナの存在についても初めて知り、色鮮やかな色に感動しました。やはり熱帯植物は見ていると明るい気持ちになりますね。
そしてなにより、皆さんがお互いこのメンバーでよかったと言えるほど仲が良く、本当に楽しく作業をしているんだろうなということが伝わってきて、とても嬉しかったです。
今後も成田西陵高校をトロピカルフルーツでいっぱいにしちゃってください！応援しています！！

授業中のところ取材させていただき、ありがとうございました！
トロピカルフルーツというと南国をイメージしてしまいましたが、地植えをして育てるチャレンジをしていることに驚きました。
今後の気候変動の影響で、もしかしたら千葉県でもバナナやパッションフルーツといったものがよく栽培されるようになるかもしれませんね。
2年後のパイナップルの収穫、楽しみにしています！高校を代表する活動になれるよう、今後も頑張ってください！

